

令和3年度指定管理者定期モニタリングの実施結果

No.	施設名称	I 市民サービスの提供	II 事業展開等	III 施設の適正な管理	IV 総合評価	コメント (要旨)	担当部署
1	市民活動センター	B	B	B	A	新型コロナウイルス感染症の影響により稼働率は低調であるが、適正な施設の貸出を継続し、稼働率は前年度比で増加した。フリースペースがワクチン接種会場となり、市民同士の交流機会が減少しているものの、協働まつりなどのイベントや講座を実施することで市民活動の活性化に努めた。事業スタッフ全員で事業計画を策定し、目的意識を共有した上で、他市の中間支援組織を視察するなど、スキルの向上に努めており、協働のまちづくりをより一層促進していく意識を確認できた。今後は、団体や企業などの民間と市との連携のハブとしての機能を強化し、効果的な協働事例を創出することを期待する。	市民協働推進部 協働共創推進課
2	市民保養所やちほ	B	B	B	A	月ごとに、必要に応じた人員を配置し、施設の保守点検や清掃業務を適切に行うことにより、利用者が快適に過ごせるよう効率的・効果的な管理運営に努めている。安定的かつ質の高いサービスが提供されており、アンケートにおいても、食事、接客対応、館内清掃の満足度は高い状況にある。利用形態の変化や新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少し、厳しい運営環境である中、施設の一部使用制限や、予約の直前キャンセルを受け付けるなど、利用者寄り添った運用を行っている。様々な企画や、広告掲載等にも取り組んでいるが、効果が低く、利用者増につながる新たな策や、更なるPR活動の展開が必要である。	生活環境部 産業振興課
3	府中駅南口市営駐車場	B	B	B	A	施設の適正かつ安全な管理を行っている。令和3年度にミッテン府中が開業されたため、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていた利用者数は増加している。今後はより多くの利用者の獲得、定着を目指すとともに、管理運営の効率化を引き続き進めてもらいたい。	生活環境部
4	府中駅南自転車駐車場	B	B	B	A	適切に施設の管理・運営を行った。ミッテン府中の開業があった令和3年度は前年度と比較し利用者数が増加した。管理・運営や利用者数の面において、新型コロナウイルス感染症の影響を受けることとなっているが、ご意見箱、利用者アンケート等をもとに利用者の満足度向上、新たな利用者の確保に努めてほしい。	地域安全対策課
5	市民会館	B	B	A	A	指定管理者の株式会社京王設備サービスはPFI事業者として開館当初より施設の維持管理・運営業務を行っているため、市民会館の運営がスムーズに行われている。令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、夜間の利用時間を短縮したこと等により、感染拡大前と比較して稼働率が戻りきっていないが、運営面では、感染防止対策を徹底して行ないつつ、概ね順調に運営することができている。令和4年9月の指定管理期間満了まで、引き続き利用者にとって使いやすい施設となるよう努めてもらいたい。	
6	府中の森芸術劇場	A	B	B	A	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う休業要請等の影響により、3ホールの平均稼働率は、感染拡大前に戻りきっていないものの全体的には回復してきた。感染防止対策を徹底した運営等、施設の適正な管理を行い、防災や危機管理については、独自の各種ガイドラインを整備した。また、訓練や研修では、市民参加型の避難訓練コンサートも実施した。また、各種助成金を活用し、ツイッターの開設や地下の練習室等にWi-Fiを設置するなど、経費節減と市民サービスの向上に努め、利用増加に向けた取組を行った。開館から30年以上経過し、施設の老朽化に伴う設備等の修繕や突発的な故障が多くなっているため、これまで以上に市民の安全と施設の健全な管理・運営に努めていただきたい。	文化スポーツ部 文化生涯学習課
7	府中の森芸術劇場分館	B	B	A	A	年度当初に新型コロナウイルス感染拡大防止対策として夜間利用自粛の呼びかけを実施した影響はあったものの、SNSを利用した広報活動を開始するなど、稼働率向上に努めた。感染防止対策を徹底した運営等、施設の適正な管理を行っており、アンケートからも高く評価されている。また、利用者の安全確保対策、緊急時の対応のための責任体制・連絡網の整備、災害時及び防火・防犯のための対応体制の整備を行っているほか、定期的に職員の研修・訓練も行っており、今後も安心できる施設の管理・運営に努めてもらいたい。	

No.	施設名称	I 市民サービスの提供	II 事業展開等	III 施設の適正な管理	IV 総合評価	コメント(要旨)	担当部署
8	生涯学習センター	B	B	B	A	利用者数は、194,052人(前年比43,766人増)と新型コロナウイルス感染症拡大による影響は令和2年度に引き続き受けつつも、増加に転じた。これは感染症対策を徹底しながら、講座数をコロナ禍前の水準で展開できたことで利用者数の呼び込みを行えたことが大きいと思われる。また、定期的な利用者の安全確保や防災のための訓練を行い、緊急時の対応に備えている点も評価できる。今後も感染症対策を徹底しつつ、国や都の要請に沿った柔軟な運営を引き続き行うとともに、更なる利用者の呼び込みのために、SNSやオンラインを活用した事業の展開を積極的に行うなど、時代に即した実施方法を期待したい。一方で、施設維持管理については、施設の老朽化が進んでいるものの、指定管理者の迅速、適切な修繕により、利用者の安全安心が確保できた中で運営することができている。引き続き、市民の生涯学習活動の拠点としての役割を果たすための取組に期待するとともに、令和4年度は指定管理者第2期の最終年度であることから、利用者サービスの質を落とすことなく業務が履行されるよう期待する。	文化スポーツ部 文化生涯学習課
9	郷土の森博物館	B	B	A	A	令和3年度は、令和2年10月からの本館常設展示室等特定天井改修工事に伴い、引き続き本館内の各展示室を全期間休室したほか、プラネタリウムも令和3年6月1日から11月30日まで(日曜日・祝日及び7月20日から8月29日までの夏休み期間を除く)、工事音等の影響から休映した。また、前年度と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年4月25日から5月31日まで休館したほか、各種事業の縮小、プラネタリウムの定員抑制等を実施し、来館者の安全・安心を最優先にした運営を行うなど、対策を徹底しながら、可能な限り事業を計画的に実施した。このような状況の中、令和3年度の博物館入場者数は、231,256人(前年度比20.8%増)、プラネタリウム観覧者数は46,609人(前年度比26.3%増)で、入場者数及び観覧者数ともに増加に転じたことは、指定管理者の日々の地道な努力と創意工夫の結果として高く評価できる。博物館は、コロナ禍にあっても、身近で安全な学びの場・憩いの場として市民に認知及び期待されおり、引き続き利用者の安全を最優先にした施設運営、事業手法の検討が求められている。	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
10	市立ふれあい会館	B	B	B	A	老朽化による施設改修工事や新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の利用制限等の対応が発生する中、適切かつ迅速に対応されていた。今後も利用者にとって使いやすい施設となるように施設の管理運営に努めてもらいたい。	福祉保健部 地域福祉推進課
11	市立介護予防推進センター	B	A	B	A	施設の管理運営は、協定書に基づき適切に行われており、元気で明るい接遇により施設全体に活気ある雰囲気を与えている。「フレイル予防教室」は、利用者から転倒不安の解消や歩行速度の向上の実感の声が寄せられるなど、機能向上に寄与する良いプログラムで構成されている。また、11月の介護予防強化月間には、元気一番!!フェスティバルをWEBにて開催し、広く介護予防の普及啓発を行うことにつなげるなど、市の介護予防の拠点施設として十分に機能している。新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインを活用した教室の開催、事業のPRを積極的に実施するなど、コロナ禍でも可能な介護予防について先駆的に取り組んでいる。2025年に向けて、本市においても介護ニーズが高い後期高齢者の人口が大幅に増加する見込みであり、元気な高齢者を増やすためにも介護予防推進センターの役割はますます大きくなることから、今後も魅力ある教室や講座の開催等により、これまで介護予防に取り組んだことが無い市民に利用されるよう、効果的かつ充実した介護予防事業の展開の提案を期待する。	福祉保健部 高齢者支援課
12	市立特別養護老人ホーム よつや苑	B	C	B	B	利用者を尊重するとともに、職員の自主性を重んじ、風通しの良い環境を作ろうとする姿勢がみられる。施設の魅力を積極的に発信したり、利用者家族と共有したりすることで、利用者家族の満足度の向上や職員がやりがいをもって働くことができる環境整備に努めている。自立支援への取組を進めており、成果がみられる。感染症対策を行いながらの施設運営は非常に難しいところもあるが、工夫を行いながらサービス低下につながらないよう努め、前年度に引き続き第三者評価で高い評価を受けている。その他、今後は市への提出物の遅れが改善されるよう期待する。	福祉保健部 介護保険課

No.	施設名称	I 市民サービスの提供	II 事業展開等	III 施設の適正な管理	IV 総合評価	コメント(要旨)	担当部署
13	市立特別養護老人ホームあさひ苑	B	C	A	A	あさひ苑は開設から25年以上が経過し、施設の劣化が進んでいるため、長期的な修繕計画の策定に向けて、市との密な連携が重要になっている。防犯対策や災害対策に関するマニュアルが整備されているとともに、定期的な防災訓練も実施しており、防犯・防災意識が高まっている。感染症について最大限対策をしながらも、利用者や利用者家族に寄り添った施設運営を心掛けている。近隣地域のみならず積極的に困難なケースの受入れを行う姿勢がある。今後も、利用者のターミナルケアの充実等、市民の方々が安心してサービスを利用できるよう、サービスの向上を期待する。	福祉保健部 介護保険課
14	市立よつや苑高齢者在宅サービスセンター	C	C	B	B	感染症対策を行いながらの施設運営は非常に難しいところもあるが、工夫を行いながらサービス低下につながらないよう努め、前年度に引き続き第三者評価で高い評価を受けている。ただし、事故対応で報告が遅れがあったことから、今後は報告管理を徹底し、職員間の共有、その後の再発防止に積極的に取り組んでもらいたい。今後も引き続き利用者の満足度向上を目指すとともに、地域の拠点として安定した運営を期待する。	
15	市立あさひ苑高齢者在宅サービスセンター	A	C	A	A	あさひ苑は開設から25年以上が経過し、施設の劣化が進んでいるため、長期的な修繕計画の策定に向けて、市との密な連携が重要になっている。職員の働く環境の改善に努め、ICT化を進めたことで、事務効率の向上と、利用者の状況把握による利用者ごとのきめ細かいサービスの提供につながっている。今後も引き続き利用者を第一に考え、サービスの向上を期待する。サービス水準については、前年度に引き続き第三者評価で高い評価を受けている。引き続き利用者の満足度向上を目指すとともに、地域の拠点として安定した運営を期待する。	
16	市立心身障害者福祉センター	B	B	B	A	施設の老朽化が進むが、保守管理及び修繕等の施設管理を適切に行っている。また、利用者の安全を確保するための各種マニュアルの整備及び定期的な見直しに努めているほか、会議室や器具の定期的な消毒により衛生管理を徹底し、利用者への配慮も充分に行うことができている。今後も、関係機関や市民への情報提供及び啓発活動などを活発に行い、制度改正や加算の取得に対応しながら、地域に開かれた施設となるよう、引き続き努力していただきたい。	福祉保健部 障害者福祉課

※定期モニタリング総合評価について

(1) 各項目(I～III)配点基準 「A」…5点、「B」…4点、「C」…3点、「D」…1点

(2) 総合評価は各項目評価の合計点数で決定します。「S」…14点以上、「A」…12点以上14点未満、「B」…9点以上12点未満、「C」…6点以上9点未満、「D」…5点以下